

進路ナビ

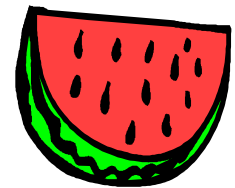
平成25年7月12日(金)

第18号 千葉県立千葉工業高校
(13-4) 進路指導部

最近の事情！

最近、大学生の就職活動がかなり話題になっているのを皆さんご存じでしょうか？新聞で特集が組まれたりしているので、読んだことがある人もいるかもしれませんね。私が最近読んだ中で皆さんにも関わることの一つお知らせします。実は、大学生の就職面接で「どのような入学形態で入学しましたか？」という質問をする企業が増えてきたということです。そしてA0入試で入学した場合評価が低くなることもある、ということでした。今、進学を考えている皆さん、もしA0入試で早く決めて楽になりたいと考えているのなら、もう一度考えてくださいね。(短大や専門学校も同じです)自分の学力では指定校推薦や一般入試では厳しいというならA0入試という手段を使ってもいいと思いますが、そうでなければ、安易にA0入試での受験はしないほうがいいと思います。専門学校も入りやすいと言う理由で、あまり勉強しない人がいますが、実は、専門学校は入学してクラス編成の試験があり、そこで、その先の扱いが変わることもあります。ですから、できれば、指定校推薦で入りそれなりの学力をキープしていただければと思います。入学するときに卒業のことを考えて一歩リードしませんか？

暑い夏休み...！



今年の夏はひときわ暑くなりそうです。皆さん熱中症にならないように気をつけましょう。

さて、夏休みは3年生にとって正念場です。進学希望の人は、課外補習と模試を受け、志望動機など出願準備をしなければなりません。オープンキャンパスに行き情報収集するのも大事ですね。就職の人は会社見学、履歴書の準備、面接練習...とやるのがいっぱいです。体調管理も大切なことです。夜更かしをしたり、暴飲暴食をしたりして肝心なときに体調不良を起こさないように気をつけてください。では、進学の人も就職の人もほとんどの人が面接があると思いますので、夏休みに練習をする時に参考にしたいことを以下に示します。

面接を受けるにあたって大事なことは、まず受け身にならないことです。面接を受ける人のほとんどが、「何を聞かれるのだろう」「うまく答えられるだろうか」「礼法がきちんとできるだろうか」とびくびくしています。とても残念なことです。面接は皆さんの良さをアピールできるチャンスなのです。これを「びくびく」で対応してしまっただけではもったいないでしょ！堂々と答えられるようにしましょう。

【その1】あらかじめ予想される質問には答えられるようにしておくこと。(進路資料室にある「入社試験報告書」「入試報告書」や『進路のしおり』14～15ページ参照)

進学希望の人は少なくとも志望理由が答えられないようでは困ります。必ずその学校を選んだ理由とその学部・学科を選んだ理由をそれぞれ答えられるようにしておきましょう。たとえ指定校推薦だとしても、これすら答えられないと不合格になりますよ！

【その2】質問を受けたらまず返事をする。

(例) 質問者...「あなたの趣味は何ですか。」

あなた...「はい。映画鑑賞です。『パイレーツ・オブ・カリビアン』のシリーズは全て観ています。ジョニー・デップの演技に魅力を感じます。」

ここで注意したいのは「はい。私の趣味は…」のように、相手の質問を繰り返さないことです。また、「欠席は多いですか。」と聞かれて、うっかり「はい。」と答えないようにしましょう。この場合は「いいえ。欠席はありません。今のところ皆勤です。」となります。

【その3】一言で答えを終わらせないこと。

上の例でいうと「はい。映画鑑賞です。」だけで終わることです。これではせっかくのチャンスを活かせませんし、相手がさらに質問を重ねなければならず、良い展開にはなりません。それに簡単なことでも質問をたたみかけられると焦ってしまいます。そのためにもこちらから先制攻撃(?)して、質問攻めを封じましょう。「一言添える」...これがコツです。

【その4】長々と語り過ぎないこと。

【その3】で書いたことを受けて張り切って準備をし、それを相手に伝えようと、ここぞとばかり語ってしまう人が時々いるのですが、実はこれも逆効果です。何事もほどほどというのが大事で、企業の方にその企業について、大学教授に大学についての知識を長々と披露するのはかえって失礼というものです。もし、言いたいことがあるなら「特に」「中でも」「格別」「主に」などの単語を使い、絞って答えることがポイントです。十分に調べたことは全部口に出さなくても、言外に伝わるものです。

【その5】黙ってしまわないこと。

難しいことを聞かれ、何も言わないまま時間だけが過ぎて、目はきょろきょろ、手足はもぞもぞ...最悪のパターンですね。こういうときは、「すみません。難しくてわかりません。これから勉強していきたいです。」などと答えた方がましです。それも1回のみ有効だと思ってください。何でもかんでも「わかりません。」ではどうしようもないですからね。それと、即答しないようにしましょう。少し考えたけれども難しくてわからなかった、ということが大事なのです。1, 2, 3くらいおいて「わかりません...」と言いましょう。

質問者は時に「えっ?」と思うような質問を投げかけてくることがあります。それは困ったときに皆さんがどのような対処をするか知りたいということが一番です。もちろん皆さんの実力もはかっています。用意してきたと思われる質問には、よどみなく答えられても、少し外れた質問には手も足も出なかったら悲しいですね。新聞などを読んで日頃から色々なことについて考える習慣をつけるよう心がけましょう。(特に1, 2年生はこれからですよ。)

【その6】真面目もほどほどに。でも言葉遣いはくずさずに。

面接官は皆さんの緊張をほぐそうと、くだけた調子で話しかけてくることもあります。そんな時ににこりともせず、真面目な顔だけだと、コミュニケーション能力に問題有りと思われる。「今年バレンタインデーに何個チョコもらったの?」なんて聞かれたら、笑顔で「残念ながら一つももらっていません。」と答えてしまいましょう。で、相手の方がかなり砕けた言葉遣いをして「彼女いるっしょ。」などと言っても、「いないっすよ。」などと答えてはいけません。「いえ、いません。」と言葉だけは丁寧に返してください。そして笑顔!!

細かいことを言えばきりがありませんが、初めに書いたとおり受け身にならないことです。自信を持って大きな声でハキハキと答えましょう。答えはぱっとしなかったけど、元気もあるし、意欲も感じられる、となれば好印象を持ってもらうこともできます。最後まであきらめないでください。

充実した夏休みになりますように!!